

平成26年度 診療報酬改定緊急セミナーを開催

平成26年3月24日(月) 13:00~17:00
中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)

今年4月より施行の診療報酬改定に伴い、一般財団法人日本医療教育財団では、毎回改定の時期に合わせて恒例となっている教育機関の医療事務教育担当者向けの「診療報酬改定緊急セミナー」を3月24日に開催した。

当日は、会場となった東京・御茶ノ水の中央大学駿河台記念館に、全国各地の専門学校や短大等から多数の教育担当者が参加した。



セミナーでは、はじめに日本医療教育財団・池田正明専務理事より、今回の診療報酬改定の重点ポイントの主なものとして、日本の全人口の4人に1人が後期高齢者になるという超高齢者社会を迎える“2025年問題”を見据えた取り組みとして、地域包括ケアの推進に向けた、医療・介護の連携、在宅医療の充実等が挙げられるとの説明がなされた。また、医療事務教育担当者に向けたメッセージとして、医療事務職に求められる技能が時代により刻々と変化していく中で、それに対応する人材の養成・輩出は大変重要なものであり、医療事務教育を実施する教育機関には今後も引き続きその取り組みを推進していただきたいとの期待を込めた思いを述べられた。

その後、医科・歯科それぞれの会場に分かれ、前



半には、医科担当・朝日智子講師、歯科担当・大塚憲子講師により、「診療報酬点数表 改正点の解説」を用いての改定の全容や、教育の現場で押さえておきたいポイント等の詳しい解説が行われた。

後半には、日本医療教育財団が独自に作成したオリジナル資料であるカルテ症例を使用した解説や、医療事務技能審査試験の受験に向けた教育指導に関するアドバイス、質疑応答といった実践的な講義が行われ、参加者は今後の教育の現場で役立てるべく耳を傾け、熱心にメモをとっていた。

終了後も、講師やスタッフに質問する参加者の姿が多数見られ、関心の高さが窺えるセミナーであった。

